

キャラクター名 メディアナ	プレイヤー名
------------------	--------

種族	ティエンス	種族特徴	通じ合う意識		
生まれ	神官	性別	女	年齢	21歳
冒険者Lv	14	経歴	予知夢を見たことがある		
経験点	3330		異種族の街で育った 魔剣の迷宮で迷子になったことがある		

技	7	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	4	11	22	44	7				
体	12	敏捷度	4	2	5	18	3	レンジャー	13		
		筋力	6		3	21	3	セージ	9		
心	9	生命力	8		25	45	7	エンハンサー	10		
		知力	9	9	32	59 + 2	10	アルケミスト	6		
		精神力	15	10	37	71	11				

戦闘特技	ルーンマスター	IB34 p	抵抗強化	OP133p
	治癒適性	2122p	武器習熟A/スタッフ	1-281p
	不屈	2123p	MP軽減/プリースト	1-283p
	ポーションマスター	2123p	ダブルキャスト	2-234p
	韋駄天	3142p		p
	鋭い目	2120p		p
	弱点看破	2121p		p
	マナセーブ	2123p		p
	魔法拡大/数	1-289p		p
	クイックキャスト	OP133p		p
	スローイング	2-228p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドラゴン語	○	
汎用蛮族語	○	
魔神語	○	
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖魔語	○	
シャドウ語	○	
ソレイユ語	○	
バジリスク語	○	
ケンタウロス語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	アンチボディ	エンサイクロペディア
	オウルビジョン	イニシアティブブースト
	スケイルレギンス	
	ストロングブラッド	
	ビートルスキン	
	メディテーション	
	ラビットイヤー	
	シェイプアニマル	
	スフィンクスノレッジ	
	バルーンシードショット	
	ヴォーパルウェポン	
	パークメール	
	ミラージュデイズ	
	クラッシュファンク	

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	マナコートプラス		1		5
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能					合計値
					0
					5

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ブラックロッド	2H	10		2d+ 0		0												
魔法行使時の消費MP	-1																	
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	18 m	54 m	2d+ 0	5	89
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP	
2d+ 19	2d+ 0	2d+ 21	2d+ 26	115	

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	14	24			

装備品	説明
頭 聖王の冠	回復魔法で威力表を使う際1ソロでも魔力点回復する
耳 ラル=ヴェイネの金鎖	シナリオにて無料入手
顔 ラル=ヴェイネのモノクル	
首 聖印	神聖魔法の行使に使用
背中 野伏のセービングマント	回避や抵抗の失敗時に魔法ダメージ-4
右手 アルケミーキット	賦術を使用できる
腰 グリーンベルト	シナリオにて無料入手
足 ラル=ヴェイネのブーツ	
その他女神のヴェール	稀に回復魔法が高い効果を発揮する

装備品	説明
ラル=ヴェイネのボンチョ	
左手 叡智の腕輪	知力+2
信念のリング	シナリオにて無料入手

その他メモ	自動失敗
ヴァグランツになった理由: 自分の力を試したくて	チェック
神官の人手が足りない時に用いられる、医療技術を用いる者。	□□□□⑤
栄養学の権威、アルティニーを父に持ち、彼の知識を一身に受けて育った。	□□□□⑩
あまりにスバルタ過ぎて、幼い頃からしばしば家を出していた。	□□□□⑮
家出した先の異種族の街の修道院でプリーストとしての洗礼を受けた…のだが	□□□□⑳
そのころから彼女の知識欲が一人歩きだしてしまい、毒物に関しての研究を熱心に始めてしまった。	□□□□㉑
それでも命を尊重する心構えはまだ残っており、研究の成果を誰かに使うことは決して無かった。	□□□□㉒
研究もそこそこに実家へ帰ると、プリーストとしての聖印を持つ彼女に父親は激怒した。	□□□□㉓
彼曰く、「栄養学一本でやってほしかった」らしい。	□□□□㉔
親子ゲンカを繰り返す、時折家を出し、魔剣の迷宮に迷い込んだりしながら、	□□□□㉕

